

本市の先行接種における副反応調査結果

1. はじめに

本市では、令和3年4月12日及び5月3日にファイザー製のワクチン接種を行った市民（約500名）を対象に、接種後1週間、副反応に関する調査を行いました。以下は、その調査結果をまとめたものです。

2. 発熱について

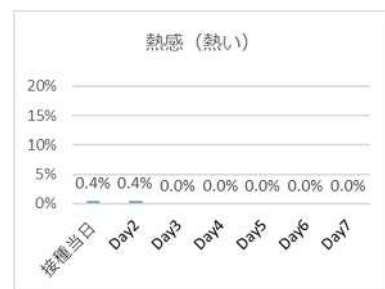
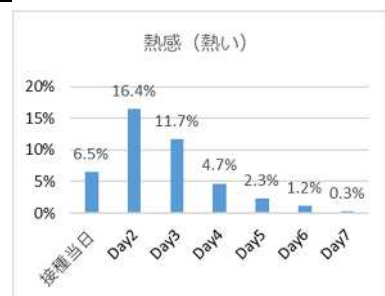
1回目接種後の発熱は、翌日のみ（0.2%）でしたが、2回目接種後は当日に0.3%、翌日に4.4%、3日目に0.9%と、1回目よりもやや高率となりました。

発熱（1回目接種後）

発熱（2回目接種後）


3. 接種部位反応について

発赤（赤み）、硬結（しこり）、熱感（熱い）については、いずれも1回目接種後より2回目接種後に高率となっており、発赤（赤み）は接種3日目、硬結（しこり）と熱感（熱い）は接種翌日に、最も頻度が高くなりました。

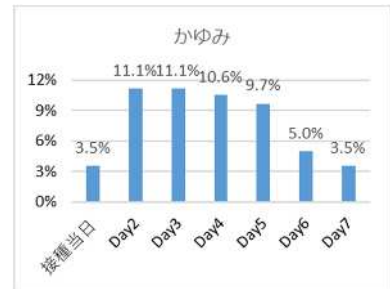
接種部位反応①（1回目接種後）

接種部位反応①（2回目接種後）


膨張（はれ）、疼痛（痛み）、かゆみについても、前ページの①と同様、いずれも1回目接種後より2回目接種後に高率となっており、接種翌日に最も頻度が高くなりました。なお、かゆみについては、接種翌日から5日目までの4日間にわたり、10%程度で推移していました。

接種部位反応②（1回目接種後）



接種部位反応②（2回目接種後）



4. 全身反応について

全身反応（頭痛、倦怠感、鼻水）についても、接種部位反応と同様、いずれも1回目接種後より2回目接種後に高率となっており、かつ接種翌日に最も頻度が高くなりました。なお、倦怠感については、約4人に1人の方が自覚していました。

全身反応（1回目接種後）



全身反応（2回目接種後）

